

3. 2003年3月期の見通し

2003年3月期 経営環境の主な変化

(外部環境)

- ・企業の情報化投資は引き続き堅調な推移が期待されるが、短期的には業況変化への注意が必要
- ・金融システム統合が峠を越す

(競合環境)

- ・ハードメーカーのソフト市場への重点シフト
- ・ソフト開発の海外シフト等グローバル化の進展

市場の需給バランスに変化の兆し



「高品質化とコスト競争力強化」により、Customer Satisfaction のさらなる向上を図ることが必要

- 高度なITサービスの提供により、Customer Satisfaction 向上を図るとともに、コアコンピタンス確立により高成長実現を目指し、企業価値向上を図る
- 2002年度は、2003年度以降におけるさらなる飛躍に向けた基礎固めの年、と位置付ける

2003年3月期決算の計画(連結)



(単位:百万円、%)

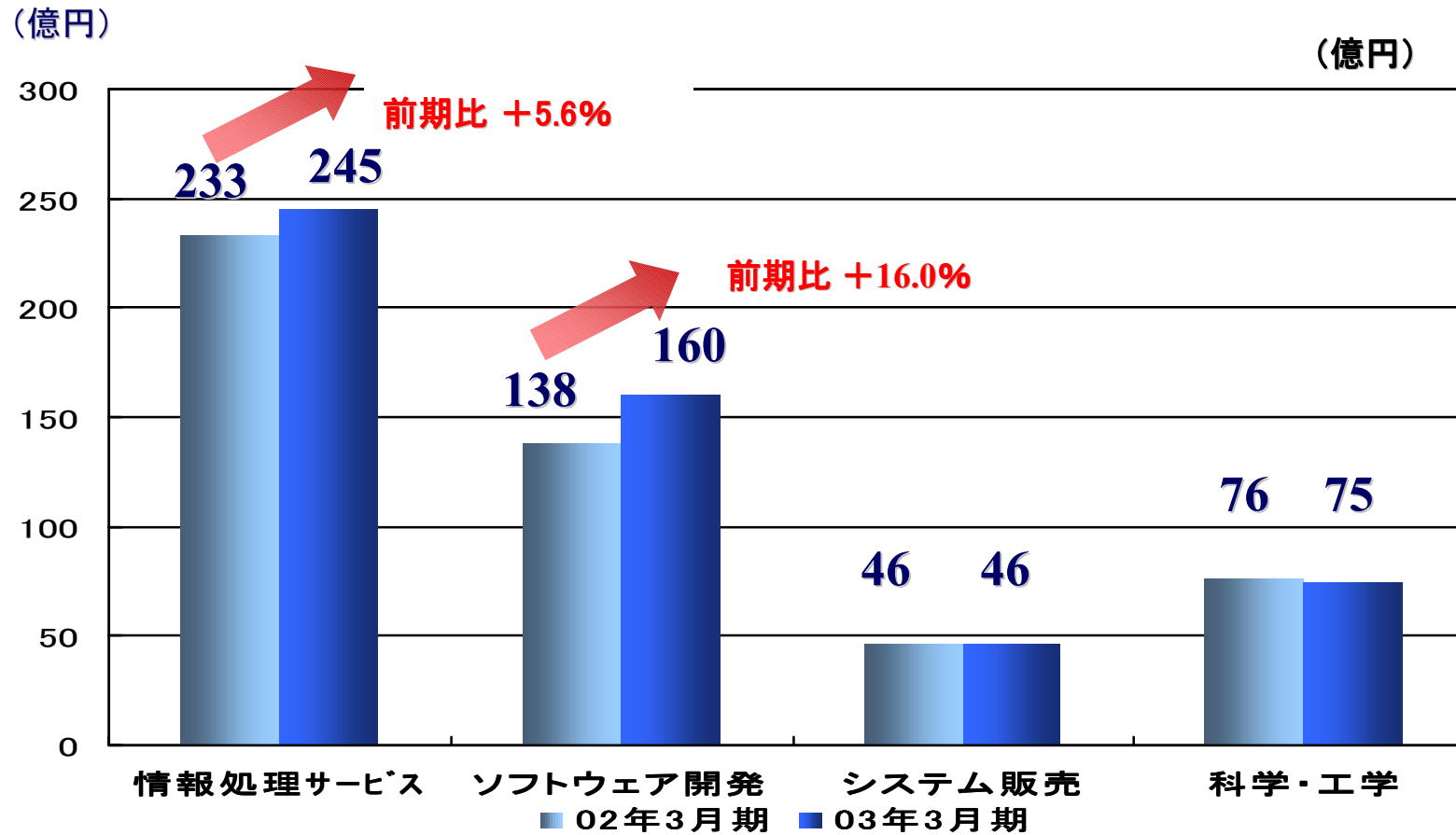
<連結>	02/3期	構成比	03/3期	構成比	前年増減比
売上高	50,250	100.0	53,500	100.0	6.5
売上総利益	9,264	18.4	9,900	18.5	6.9
営業利益	3,479	6.9	3,900	7.3	12.1
経常利益	3,573	7.1	4,000	7.5	11.9
当期利益	1,823	3.6	2,200	4.1	20.6
設備投資総額	494		1,500 (予定)		

2003年3月期決算の計画(単体)

(単位:百万円、%)

<単体>	02/3期	構成比	03/3期	構成比	前年増減比
売上高	42,826	100.0	45,500	100.0	6.2
売上総利益	6,679	15.6	7,200	13.5	7.8
営業利益	2,226	5.2	2,600	4.9	16.8
経常利益	2,413	5.6	2,800	5.2	16.0
当期利益	1,249	2.9	1,500	3.3	20.1

事業別売上高の増減見通し(連結)



☆コアコンピタンスの確立

○データセンター事業の早期収益基盤の確立

- ・大手町データセンターの早期軌道化
 - ・データセンター3拠点のシナジー効果による顧客層拡大
 - ・セキュリティ強化のための設備投資
- ⇒2003年度、データセンター事業の本格収益化

○戦略的提携事業の早期軌道化

- ・NAiSの体制強化と、運用/開発案件取り組み開始
 - ・ISSの特徴を活かす業務分野への取り組み拡大
- ⇒2003年度、具体的ビジネスの取り込み

☆コアコンピタンスの拡充

○ネットワーク分野でのビジネス領域拡大

- ・ISP、ASP事業の収益化
- ・インフラ提供→付加価値を付けた基盤提供
- ・セキュリティ関連ビジネスの拡大
- ・ブロードバンド、モバイル、eCTI、eCRM融合型ビジネスの開拓

○ERP分野でのビジネス基盤拡充

- ・伊藤忠商事のSAP導入基幹部分完了→他社のSAP導入支援
- ・コンサル要員拡充と能力アップ

☆さらなる高品質化とコスト競争力強化

○開発効率向上

- ・情報共有、Knowledge Managementの強化
- ・品質管理強化(プロジェクトリーダーの育成、リスクアセスメント体制の強化)
- ・CISCOL(中国における開発拠点)を中心とした外注戦力の活用

○人事制度、業績評価制度の継続的な改革

- ・人材確保、育成
- ・Pay For Performance
- ・年金制度の見直し

2002年3月期

決算説明会



2002年 5月 2日

株式会社 CRCソリューションズ